

## 〔編集後記〕

『社会科学ジャーナル』第47号をお届けします。

論説では、アジアにおける安全保障をグローバルな公共財として捉える視点からの Ramesh Thakur 氏の論文、「カルチャー・ショック」の概念の再検討を試みた池田理知子所員の論文、慰安婦問題を政治学の視点から解明しようとする御巫由実子所員の論文、このたびの博士号取得に結実した隈本純氏と上枝朱美氏の研究成果、そして ICU 大学院博士後期課程在籍の原田真知子氏の労作を収録しました。

さらに、Terrell Carver, James Martin, Jens Bartelson の三氏による市民社会論についての講演と韓国経済論に関する Tae-Gyun Park 氏の講演のサマリーを掲載しました。

特筆すべきことですが、本号では退職される先生方の最終講義が収録されています。西洋史の魚住昌良先生、中国史の斯波義信先生、公共経済学の村上雅子先生には、最終講義要旨収録という初めての試みゆえに、色々ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、『社会科学ジャーナル』を始めとして ICU での社会科学的研究に多くの寄与と尽力を頂きましたことをお礼申し上げます。

編集委員および社会科学研究所のスタッフ一同、社会事象の知的探究のフォーラムとしての『社会科学ジャーナル』をより一層充実させることを目指しております。掲載論文や編集方針に関するコメントや助言を頂ければ幸いです。

(木部尚志 記)